



今月のトピック

なり疲れには
発根と光合成の促進！



本格的に収穫時期に入り、開花と着果が続き負荷がかかる中で樹勢は弱まり芽先が細くなる傾向です。年明け以降、春の気候に植物が耐えられるように、今の内から弱らせないように注意しましょう。光合成量が少ない厳寒期では、資材を活用するのもおすすめです。

冬はなり疲れ対策で春の気候に備えましょう！

●根張りの強化には

光合成産物が優先的に花や実分配到される中で、**収穫期はどうしても根が弱り気味**になります。**根量減少は樹勢の低下**に繋がるので、**樹が細くなってきたら根張りの強化**を心掛けてみましょう。

▶フレッシュサンソ液剤

根域に**酸素を供給**することで**根の細胞を活性化**し、**新たな根の伸長、根量の減少を抑えられます**。10aあたり10kgを灌注、月に2回程施用すると効果的です。灌水過多に管理してしまった時や、弱った根を回復させたい場合に最適！



▲詳細はこちら！



▶地力の素リキッド

腐植酸、フルボ酸は土壌微生物の活性化や養分の吸収を促して発根を促進させます。最初の土作り時に腐植を施用しても、腐植は栽培とともに土から徐々に減っていき、植え付け後の土壌環境の改善や、余分な肥料成分を与えずに腐植だけ与えることが可能です。

❖ 灌水過多に注意！

芽先が細くなったり、樹勢が落ちると、回復させようと水や肥料を多く与えがちです。日射量が少ない厳寒期では、根からの吸水量も少なくなります。培地に残った水によって根が酸欠になり、根張りの弱り、根傷みに繋がりがやすいです。灌水量を減らす、終わりの時間を早めるなど、秋の灌水管理のままにならないように注意しましょう。

●光合成能力の強化には

▶鉄力あくあF14

鉄、マグネシウムや豊富な微量元素により、葉緑素の形成が促進され光合成が強化されます。植物に吸収されやすい2価鉄が配合されているため、葉面散布で速効性を狙えます。5000倍で10日おきに葉面散布して使用します。



▲詳細はこちら！



▶バリカタ！

ケイ酸は葉面散布で与えることで、各種代謝が向上し、特に光合成の働きが良くなります。葉の立性が良くなり、また、**表面細胞膜を硬く**するので、カビの胞子などへの耐性も強くなるほか、**収穫物の棚もちも良くなります**。1000倍で7~10日おきに葉面散布がおすすめです。



▲詳細はこちら！

